

## 「日本医療催眠学会の誕生と催眠について」

萩原 優

2013年2月「日本医療催眠学会」(Japan Medical Hypnosis Association) (JMHA)が誕生しました。この学会は、心の医療、癒しの医療としての医療、福祉、心理、教育などの分野における催眠を科学的に研究し、正しい普及促進する目的で設立しました。

医療催眠という名前がつけられていますが、単に医療に限らず、こころと体の根源を見つけることで気づきを得ることを目標とし、こころと体の全人的な面から幅広い活動をしていくつもりです。

その活動範囲も、通常の催眠だけではなく、潜在意識に関係するこころと体に働きかける様々な手技も、この学会では取り上げていくつもりです。

その為に、催眠に興味と関心のある方々、どなたにも門戸を開き、研究し、勉強することで従来の枠組みを超えた新しい領域の人たちに是非、参加して欲しいです。

また、本学会は心理学の専門家であられる本学会の副理事長である橋元慶男先生のご尽力により設立された経緯があります。学会関係者の一人として、会を代表して、橋元先生に深謝致します。橋元先生の催眠は基より、笑い、タッピングタッチなど、幅広く活動されており、今後も学会を牽引して頂けるものと期待しております。

学会は当面年一回の学術大会を開き、また、年二回の学会誌を発刊する予定です。また、会員の皆様にはHPの紹介や学会員のみが見られるページも作成する予定です。

この学会が将来、日本を代表する催眠の民間団体に育って欲しいですし、今日、お集まりの会員の方々には積極的な参加と活動をお願いする次第です。

私の催眠ですが、催眠のセラピストが100人いれば、100通りの催眠に対する考え方があると言われていています。催眠で取り上げる意識は、通常は顕在意識と潜在意識に分けられます。私は、意識をエゴの意識とスピリットの意識に分けて催眠との関連性を考えてみました。エゴの意識とは、自我意識とも言われ「私は分離した存在であり、自分が行為者である」と考えています。一方、スピリットの世界は、個を超えた世界であり、宇宙の源泉につながっています。私たちの本質は、完璧であり、愛に満たされている存在なのです。

催眠は、この二つの意識の両方に関与します。エゴの世界では日常的な問題を年齢退行や前世療法などで振り返り、必要に応じてリフレイミングします。一方、催眠により潜在意識の奥深くのスピリットの

意識につながることもできます。そこで、私たちは「マスター」という高次元の存在に出逢うことが可能になるのです。その私たちの本質の部分に触れることにより、私たちは自らがワンネスの世界を感じることができるのです。この様に催眠はあらゆる可能性を秘めているといえます。